2025年
No. 72
夏号

Nakakita Smile通信

～マナーの処方せん～

中北マナーキャラクター
中北みどりちゃん

前回の「Nakakita Smile 通信 71 号（春号）」で【祝儀のマナー】についてご紹介したところ「不祝儀のマナーについても知りたいです」との声を数多くいただきました。
そこで、今回は【不祝儀のマナー】についてご紹介いたします。

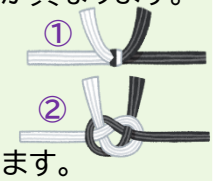
不祝儀とは

不祝儀とは、葬式や香典のことを指します。
通夜、葬儀、告別式に参列する際には、不祝儀（香典）を持参します。香典は、本来「亡き人に手向ける香や花の代金」という意味があります。
最近では、弔意を示すためのお金という意味が強くなっています。

水引・表書き

宗旨宗派により、不祝儀袋や表書きが異なります。

◆水引（①結び切り・②あわじ結び）



水引は、結び切り、あわじ結びが使われます。
水引の色は、包む金額により違います。
黒白・青白（印刷タイプ）：三千円～五千円
黒白・黄白：一万円～五万円、双銀：五万円以上。

◆表書き

【仏 式】
一般的に通夜や葬儀の際は、「御霊前（ごれいぜん）」。
四十九日以降は、「御仏前（ごぶつぜん）」または「御佛前（ごぶつぜん）」。
他にも「御香典（おこうでん）」、「御香料（おこうりょう）」、「御悔（おくやみ）」など宗派や地域により、違いがあります。

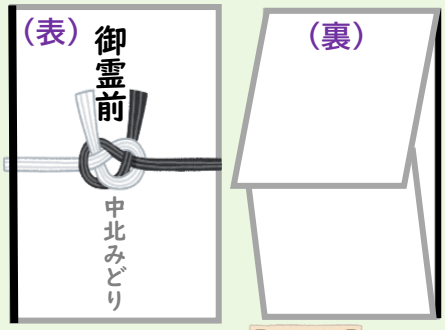
【神 式】
御神前（ごしんぜん）、御玉串料（おたまぐしりょう）、御榊料（おさかきりょう）、御霊前。

【キリスト教式】（水引は不要）
（カトリック）御花料（おはなりょう）、御ミサ料（おみさりょう）、御霊前。
（プロテスタント）御花料、献花料（けんかりょう）、弔慰料（ちょういりょう）。

不祝儀袋のマナー

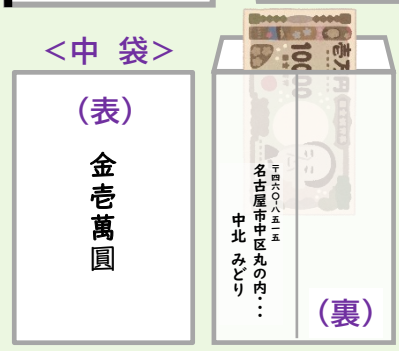
不祝儀袋には、「のし」はついていません。
不祝儀の中袋に入れるお札は、祝儀の新札とは違い、少し使ったものを用意します。新札を入れると“故人の死を待っていて新札を用意していたのでは”と思われるのではないか、という気遣いから生まれました。（諸説あり）
名前は、悲しみや涙を表す色とされている薄墨で書きます。香典は「袱紗（ふくさ）」に包んでいくのがマナー。
お渡しするときは「袱紗」から取り出し、お悔やみの言葉を述べてから、両手をそえて渡します。

＜上包み＞



故人との別れを惜しむ、悲しみを表す意味から、上包みの下を折ってから上を折る。

＜中 袋＞

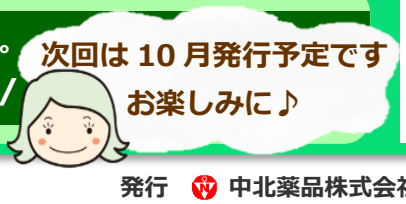


お札の向きは、中袋を裏向きにし、お札の人物が下にくるように入れる。

参考文献：日本人礼儀作法のしきたり（著：飯倉晴武）

心遣いで、「お悔み」の気持ちをお伝えしましょう。

マナーインストラクター部ＨＰです。ぜひご覧ください。
https://www.nakakita-manner.com/



発行 中北薬品株式会社 マナーインストラクター部